

令和5年度

東京都障害者施設等のBCP策定支援事業

# BCP策定講座

入所系サービス



東京都福祉局  
障害者施策推進部企画課

---

## 本講座のねらい



**BCPの基本的な考え方を理解する**  
**BCPの作成のポイントを理解する**



**自施設・事業所のBCP作成のきっかけにする**

# 本講座の内容

## 本講座の進め方

1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント  
～業務継続計画（BCP）策定取組～
2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは
3. 感染症BCPとは
4. 感染症BCP演習
5. 自然災害BCPとは
6. 自然災害BCP演習

## まとめ

\* 本資料は厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部から公表された、「障害福祉サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」（令和2年12月）および「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」（令和3年3月）の内容を基に作成したものです。

## 本講座の進め方

# 本講座の進め方

日程・時間	時間（分）	内容
13:00~13:05	5	オリエンテーション
~13:50	45	【講義】 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント ~業務継続計画（BCP）策定取組~ 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは
~14:00	10	◆ 感染症編 【講義】3. 感染症BCPとは
~14:10	10	休憩
~14:40	40	【演習】4. 感染症BCP演習 演習①利用者及び職員に複数名（全体の3割）発生した場合について検討
~15:15	35	演習②職員が確保できない場合の対策（業務の調整）について検討
~15:35	10	休憩
~15:45	10	◆ 自然災害編 【講義】5. 自然災害BCPとは
~16:15	30	【演習】6. 自然災害BCP演習 演習③地震発生時の被害について、電気を例に検討
~16:45	30	演習④電力が使用できない場合の対策について検討
~17:00	15	ご案内等

# 本講座の進め方

## 本講座の進め方



### 【講義】+【演習（グループワーク）】

#### □【講義】

- スライドに沿って、講師がBCP作成の要点を解説します。

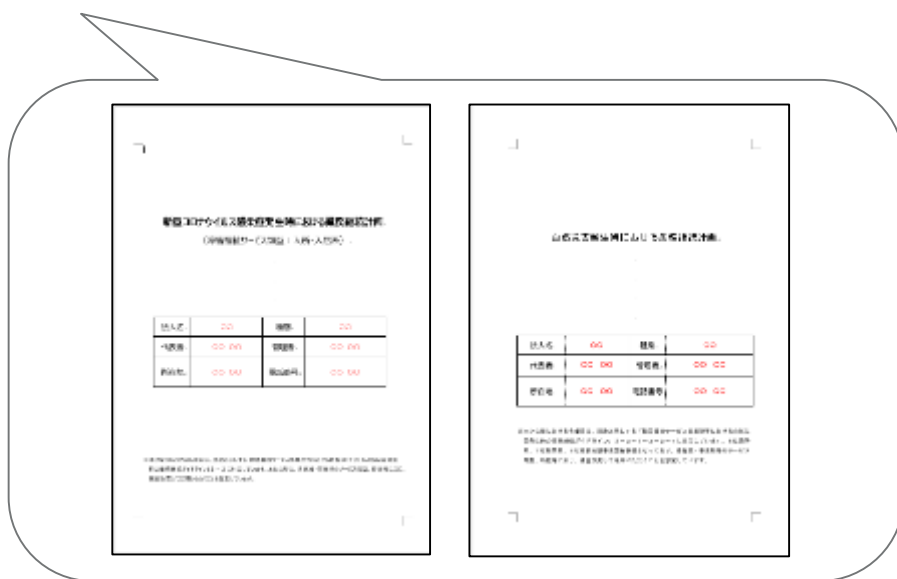
#### □【演習】

- 配布したワークシートを完成していただきます。
- ワークシートに記入する内容についてグループで意見交換をしてください。
- 演習後、1～2組のグループに発表していただきます。

# 本講座の進め方

BCPには**基本の型**があります。

厚生労働省HPで公開されているガイドライン、ひな形などを有効活用しましょう。



(厚生労働省掲載HP)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15758.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15758.html)



**1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント  
～業務継続計画（BCP）策定取組～**



# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## なぜ障害福祉サービス等事業所にBCPが必要なのか

障害福祉サービス等は、利用者、その家族等の生活を支える上で欠かせないものです。

昨今、新型コロナウイルス感染症の流行や、地震や水害などの大規模災害が頻発する中で、障害福祉サービス等事業所において、これらが発生した際にも適切な対応を行い、利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築することが一層重要となっています。

こうした観点から、大規模災害や感染症の流行に備え、障害福祉サービス等を継続するために平時から準備・検討しておくことや、発生時の対応などをまとめたBCP（業務継続計画）の策定が義務付けられることとなりました。

# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## BCP策定取組に求められる3つの項目

1. 作成

2. 研修

3. 訓練



### 障害福祉サービス等報酬改定

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定において、全ての事業者にBCPの作成および研修・訓練の実施が義務化されました。令和6年3月31日までは努力義務ですが、それまでにBCPを作成し、研修や訓練を行なっていくことが必要となります。

# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## 1. 作成

### BCP作成の目的



自然災害や感染症が発生した際にも、

適切な対応を行い、

職員と利用者の安全性を確保しながら、

利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築する

### BCPの種類



自然災害

感染症

# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## 2. 研修

### BCP研修の目的

自然災害および感染症に係るBCPの具体的な内容を職員間に共有すること

- ① 平常時の対応 ⇒ 対応の必要性の理解の励行
- ② 緊急時の対応 ⇒ 対応に係る理解の励行

### 実施回数

年2回以上

※通所・訪問系は年1回以上

職員の入職時研修

### 実施の記録

記録を残すことも必須

# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## 3. 訓練（シミュレーション）

### BCP訓練の目的

自然災害および感染症が発生した場合において、  
迅速に行動できるように

- ① 施設内の役割分担の確認
- ② 実践するケアの演習 など をおこなうこと

### 実施回数

年2回以上

※通所・訪問系は年1回以上

### 訓練の実施手法

机上訓練

実地で実施

机上 + 実地の組み合わせ

※実施手法は問わない。

# 1. 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定のポイント～BCP策定取組～

## 3. 訓練（シミュレーション）

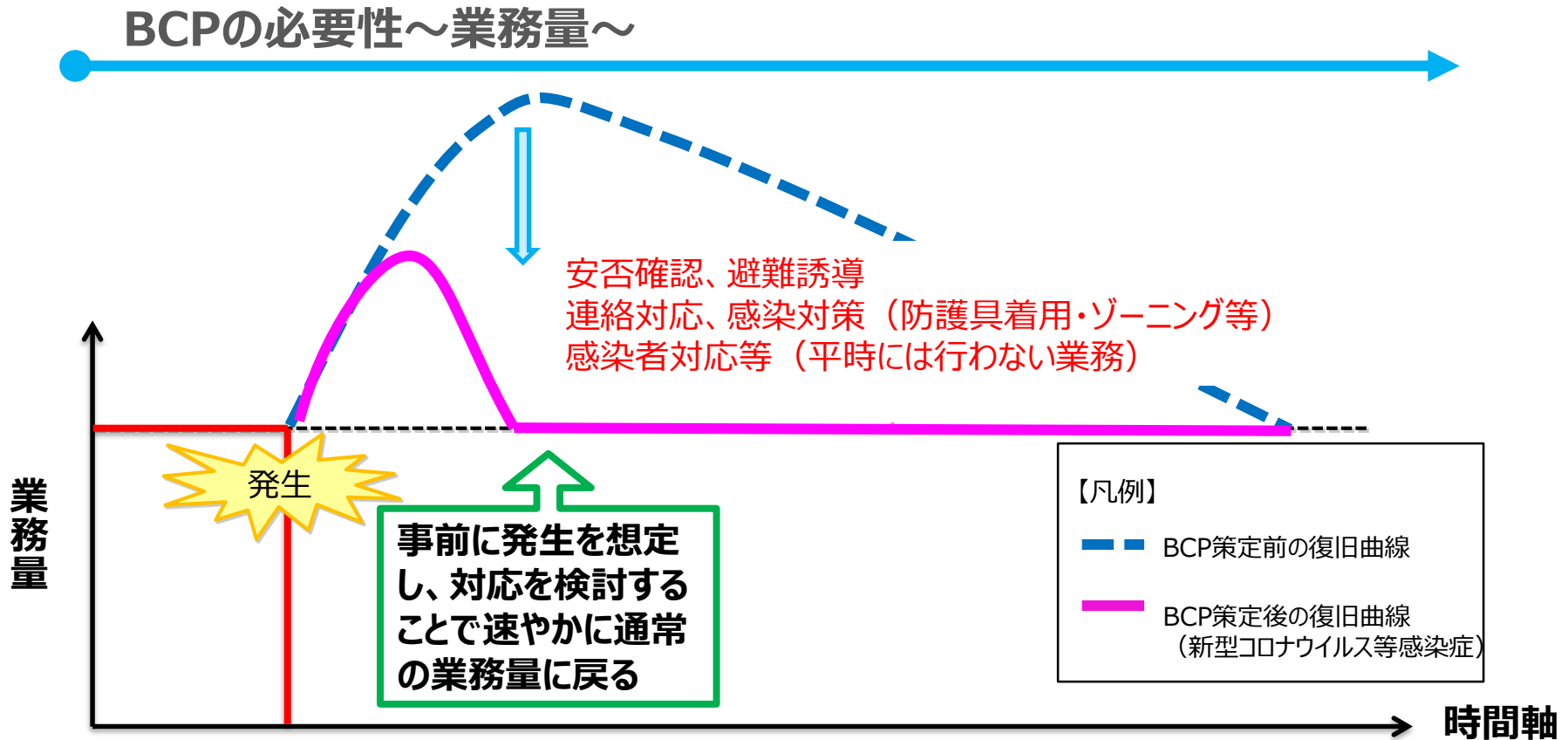
### 地域と連携した災害対応の強化（施設系、通所系、居住系サービス）

災害への対応においては、地域との連携が不可欠であることを踏まえ、非常災害対策（計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難等訓練の実施等）が求められる障害福祉サービス等事業者（施設系、通所系、居住系）において、訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めなければならないこととする。

出典：厚生労働省 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容 令和3年2月4日

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

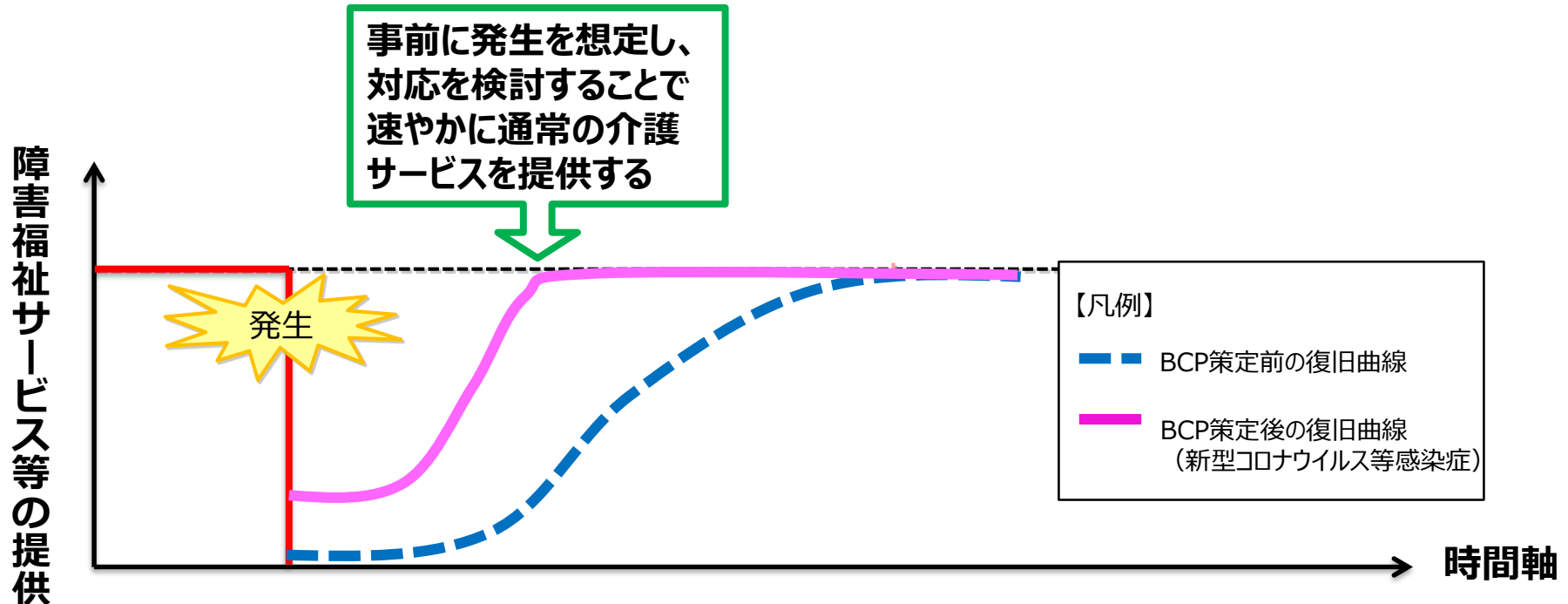


- ① 安否確認、避難誘導／感染対策、感染（疑い）者、濃厚接触者等の対応等による通常業務以外の業務による業務量の増加
- ② 職員の不足、インフラ停止による作業の増加、業務量過多による職員への負担の増加等の悪循環



## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### BCPの必要性～障害福祉サービス等の提供～



- ① 通常以外の業務（安否確認、避難誘導、連絡対応、感染対策、感染者対応等）による業務量増加のため、利用者への障害福祉サービス等が滞る
- ② 職員の不足により、利用者への障害福祉サービス等が滞る

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### 障害福祉サービス等事業所に求められる役割

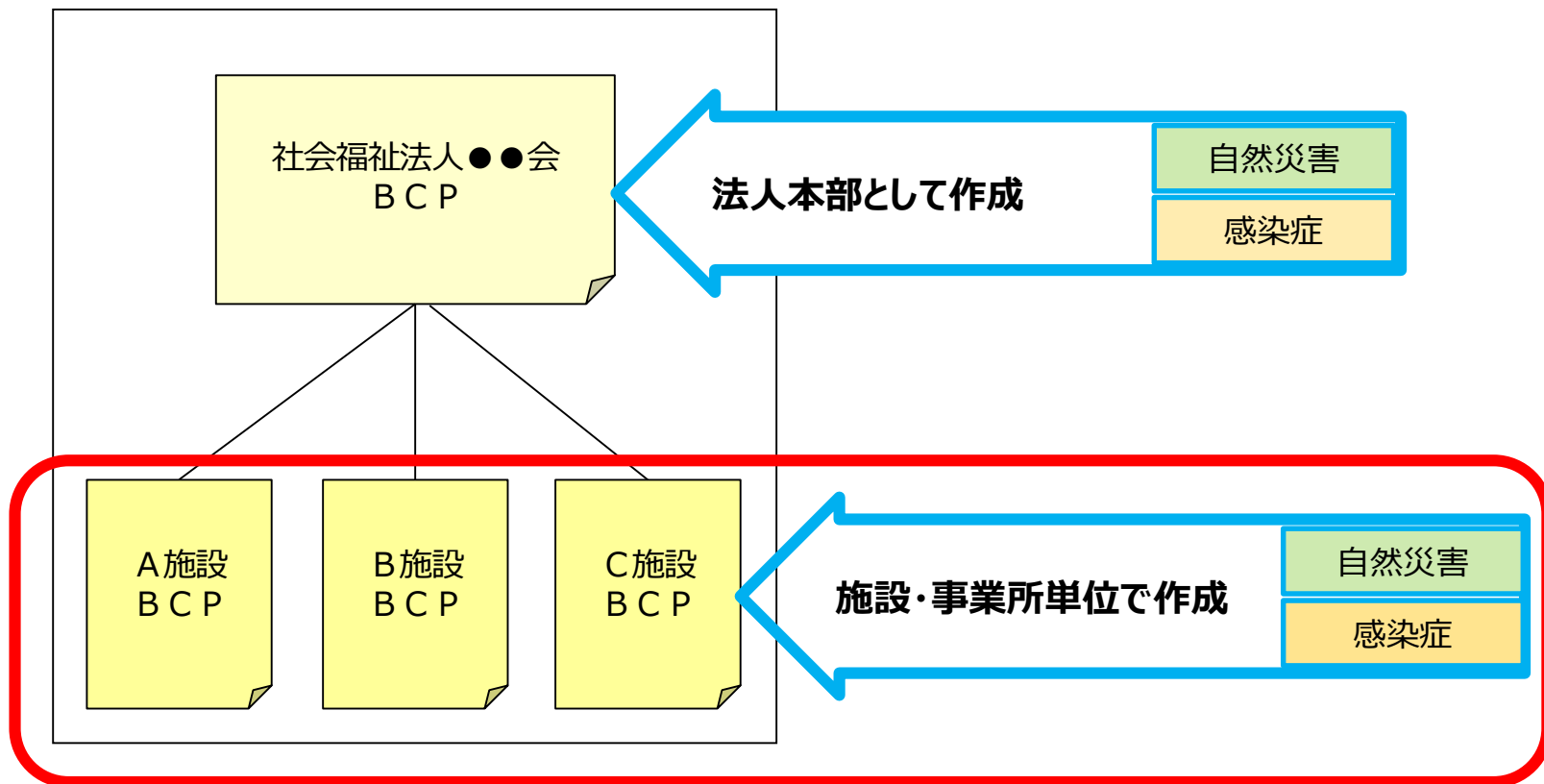


### 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

自然災害や感染症が発生した場合などの非常事態においても、**業務を中断しない様に準備し、重要業務を継続するため、**  
あらかじめ検討した方策を計画書として**明文化**したもの。

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### BCPの構成



## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### BCP作成のポイント

① 情報集約・共有と役割分担、判断ができる体制の構築

② 事前の対策と発生後の対応に分け、事前に準備

③ 業務の優先順位の整理

④ 計画を実行できるよう普段からの周知・研修、訓練

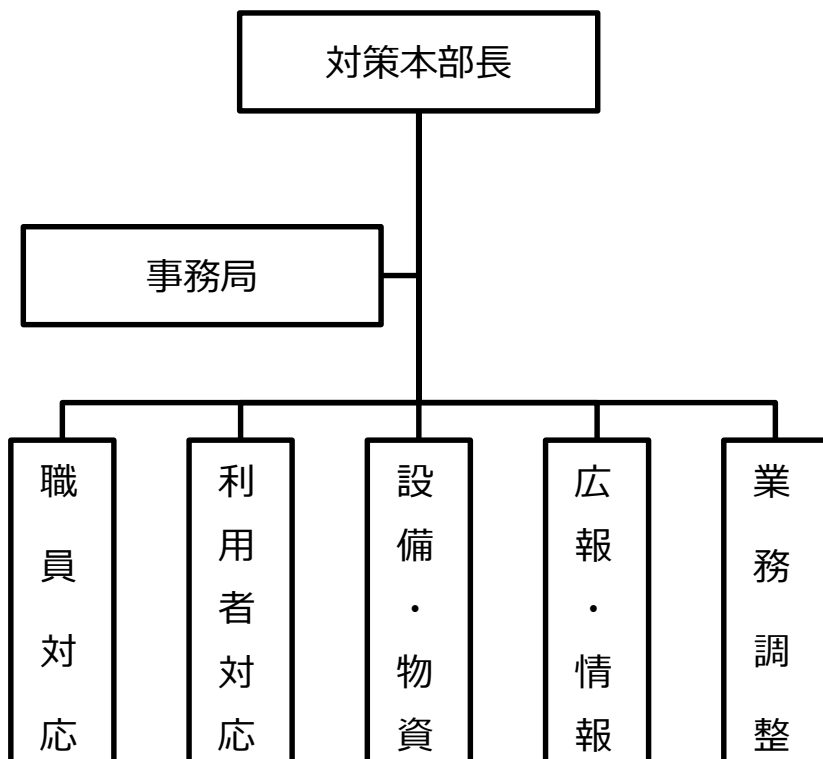
サービスの継続(中断させない)

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ① 情報集約・共有と役割分担、判断ができる体制の構築

□ 全体の**意思決定者を含めた組織体制の構築**

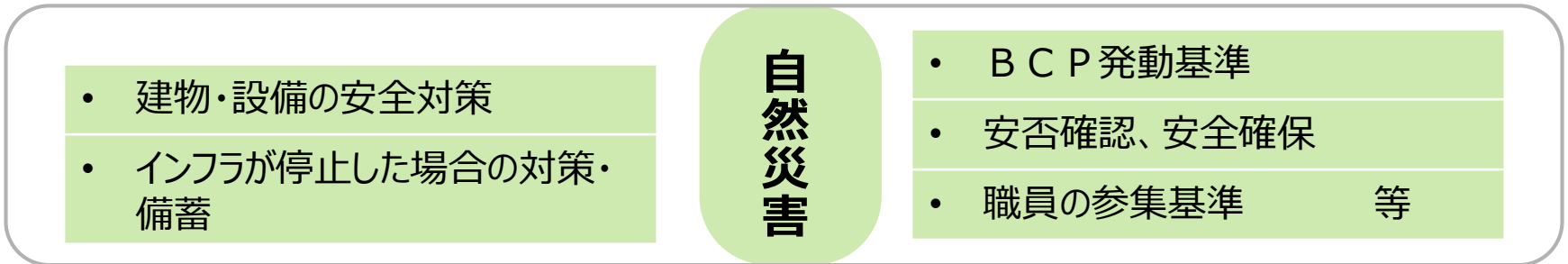
<例>



主な役割	部署・役職	氏名
対策本部長	施設長	● ● ● ●
事務局長	事務長	● ● ● ●
業務調整担当	主任	● ● ● ●
広報・情報担当	総務課	● ● ● ● ●
設備・物資担当	施設課	● ● ● ●
利用者対応	主任	● ● ● ● ●
職員対応	人事課	...

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ②事前対策と発生後の対応に分け、事前に準備



## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ③業務の優先順位の整理

#### □ STEP 1 業務を4つに分類する

分類	定義	
継続業務	優先的に継続する業務	<b>重要業務</b>
変更/ 縮小業務	出勤人員、物理的環境等を踏まえ、方法を変更/縮小する業務	
休止業務	多人数が1カ所に集合する等、感染予防の観点から休止することが望まれる業務	
追加業務	通常時には発生しない、感染予防や感染者対応等の追加業務	<b>重要業務</b>

**重要業務** = 特に人的資源が限られる中、職員不足時でも優先すべき業務

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ③業務の優先順位の整理

#### □ STEP 1 業務を4つに分類する

分類	業務
継続業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療的ケア</li><li>・ 服薬管理</li><li>・ 食事介助支援</li><li>・ 排泄介助支援</li></ul> <b>重要業務</b>
変更/縮小業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 行事、余暇活動</li><li>・ 日中活動、就労訓練</li><li>・ 入浴</li></ul>
休止業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修会</li><li>・ 行事、家族会/交流会</li></ul>
追加業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 行政、利用者家族、関係者への連絡</li><li>・ 自然災害発生時は福祉避難所の運営</li><li>・ 感染症発生時は消毒、清掃、個人防護具の着用</li></ul> <b>重要業務</b>



## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ③業務の優先順位の整理

□ STEP 2 **重要業務をライフラインの状況や職員数に応じて調整**する

職員数	出勤率30%	出勤率50%	出勤率70%	出勤率90%
ライフライン	停電、断水	停電、断水	断水	復旧
業務の基準	生命を守るため 必要最低限	生命の維持と 衛生管理を優先	ほぼ通常 一部減少・休止	ほぼ通常
食事の提供	弁当の配布	弁当の配布	朝・昼調理、 夜弁当の配布	ほぼ通常
食事介助	必要な方に 時間を限定して介助	必要な方に 時間を限定して介助	必要な方に介助	ほぼ通常
排泄介助	おむつ着用	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
入浴介助	必要に応じて清拭や 部分浴、あるいは 時間を限定して介助	必要に応じて清拭や 部分浴、あるいは 時間を限定して介助	清拭や部分浴、ある いは時間を限定して 介助	ほぼ通常

**+ 職員の対応能力を考慮したシフト構成の検討**

## 2. 障害福祉サービス等事業所におけるBCPとは

### ④計画を実行できるように普段からの周知・研修、訓練

- 作成したBCPを周知する
- 研修、訓練(シミュレーション)を定期的に実施する【年2回以上】
- 最新の知見等を踏まえ、定期的に見直す
- 更新履歴を記載する

<更新履歴の作成例>

更新日	更新内容	更新者
●●年●月●●日	●●作成・追加	

### 3. 感染症BCPとは

### 3. 感染症BCPとは

#### 新型コロナウイルス感染者が施設内で発生したら…

##### 影響の例：入所施設でクラスターの発生

###### 感染拡大防止対応

- 施設内の清掃、消毒
- 個室管理、ゾーニング
- 感染疑い者、濃厚接触者へのケアの調整 等

###### 報告・連絡の実施

- 多方面への報告連絡（医療機関、保健所、指定権者、自治体、利用者・家族、出入り業者等）
- 保健所等との頻回な情報共有、指示の確認 等

###### 職員不足

- 感染者や濃厚接触者となった職員の出勤停止
- 濃厚接触者の利用者に対するケア量の増加
- 濃厚接触者の利用者に対し、担当職員を分けた対応 等

###### 備品不足

- 感染防護具や消毒液等が不足する 等

###### 事前準備がされていないならば

- …業務を実施する職員が確保できない
- …施設内感染が拡大する
- …衛生用品が不足し、感染拡大防止対策がとれない
- …関係機関にスムーズに報告・連絡ができない 等



**障害者施設等は  
サービスを停止できない！！**

###### 感染者発生時の対応が 検討されていないならば

- …サービスが提供出来ない
- …適切な感染拡大防止対策がとれない
- …関係機関にスムーズに報告・連絡ができない
- …必要な職員数を確保できない 等

### 3. 感染症BCPとは

#### 感染症BCPと感染対策マニュアルの関係

内容		感染症BCP	感染対策マニュアル
平時の取組み	ウイルスの特徴	△	◎
	感染予防対策 (手指消毒の方法、ガウンテクニック等)	△	◎
	健康管理の方法	△	◎
	体制の整備・担当者の決定	◎	△
	連絡先の整理	◎	△
	研修・訓練	◎	○
	備蓄	◎	○
	情報共有	◎	○
感染(疑い)者 発生時の対応	情報発信	◎	○
	感染拡大防止対策(消毒、ゾーニング方法等)	△	◎
	ケアの方法	△	◎
	職員の確保	◎	○
	業務の優先順位の整理	◎	×
	労務管理	◎	×

出典：厚生労働省 障害福祉サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続ガイドライン

### 3. 感染症BCPとは

	地震 (自然災害)	新型コロナウイルス感染症等 (感染症)
業務継続 の方針	できる限りの業務の継続・早期復旧を図る	感染リスク、社会的責任、経営面を勘案し、 業務継続のレベルを決める → <b>正確な情報を基に的確に判断する</b>
被害の対象	主として、施設・設備等、 社会インフラへの被害が大きい	主として、[人] への健康被害が大きい → <b>職員の確保・調整が重要</b>
被害の期間	過去の事例等からある程度の影響想定が 可能	長期化すると考えられるが、不確実性が高 く影響予測が困難 → <b>時間的経過</b>
地理的な 影響範囲	被害が地域的・局地的 (代替施設での操業や取引事業者間の補完 が可能)	被害が国内全域、全世界的となる (代替施設での操業や取引事業者間の補完 が不確実)
災害発生 と 被害制御	主に兆候がなく突発する被害規模は事後の 制御不可能	海外で発生した場合、国内発生までの間、 準備が可能 被害規模は感染対策により左右される → <b>感染防止策が重要</b>

### 3. 感染症BCPとは

## サービスを継続する・中断させない

①

サービスを提供するために  
必要な資源を守ること

人（職員）

物資

②

その足りない資源を補って  
サービスを復旧させること

応援職員の確保

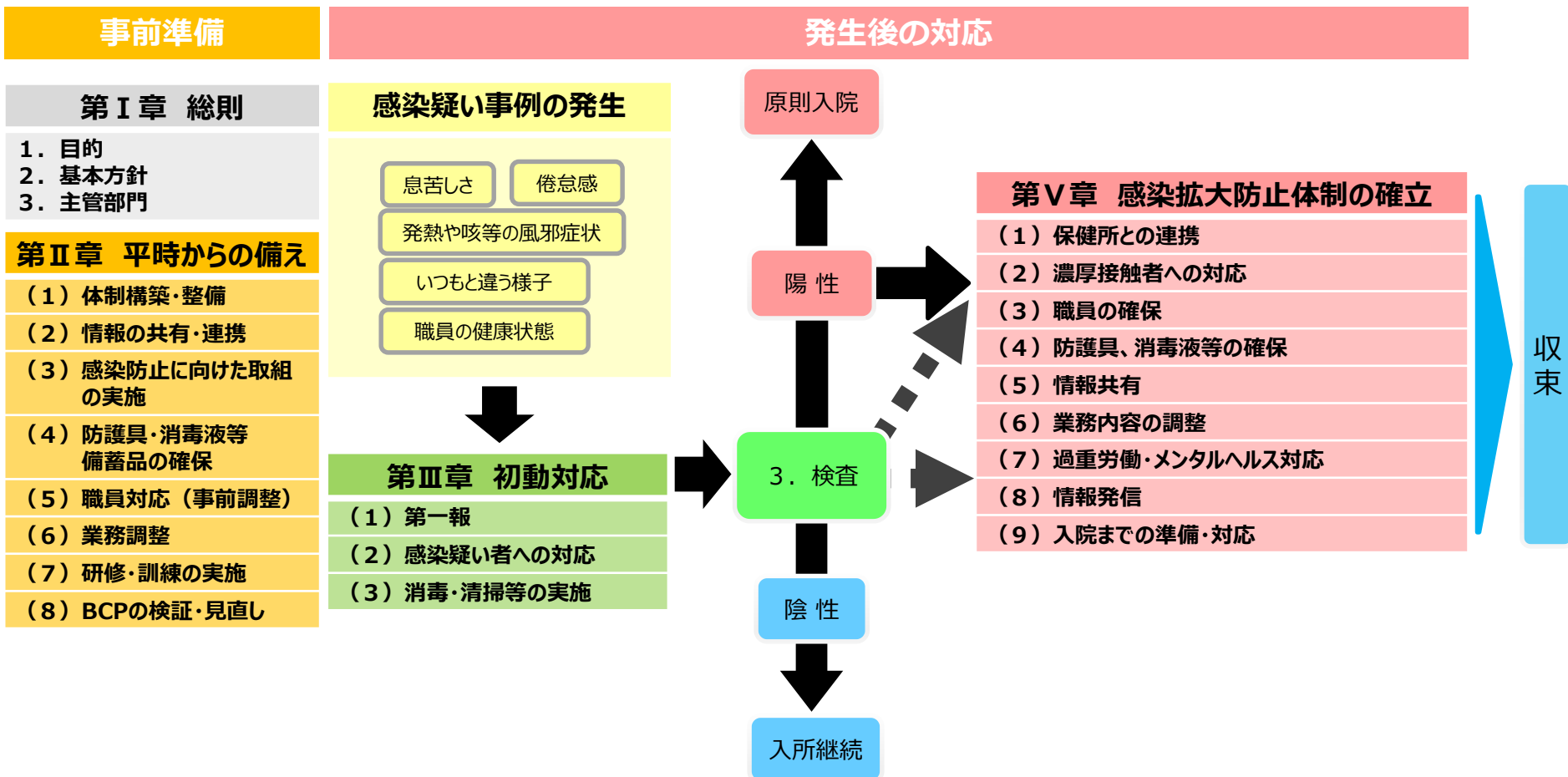
物資の確保

③

資源の不足を想定して、優先する業務を選定し準備する

# 3. 感染症BCPとは

## 感染症BCPフローチャート簡易版



出典：厚生労働省「障害福祉サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」をもとにMS&ADインターリスク総研にて作成



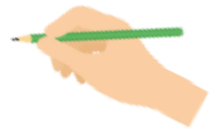
## 4. 感染症BCP演習

## 4. 感染症BCP演習

### ワークテーマ1

利用者及び職員に感染者が複数名（全体の3割）発生した場合について考えます。

- ① 職員が感染（不足）した場合、職員はどこから確保しますか？

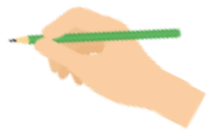


## 4. 感染症BCP演習

### ワークテーマ1

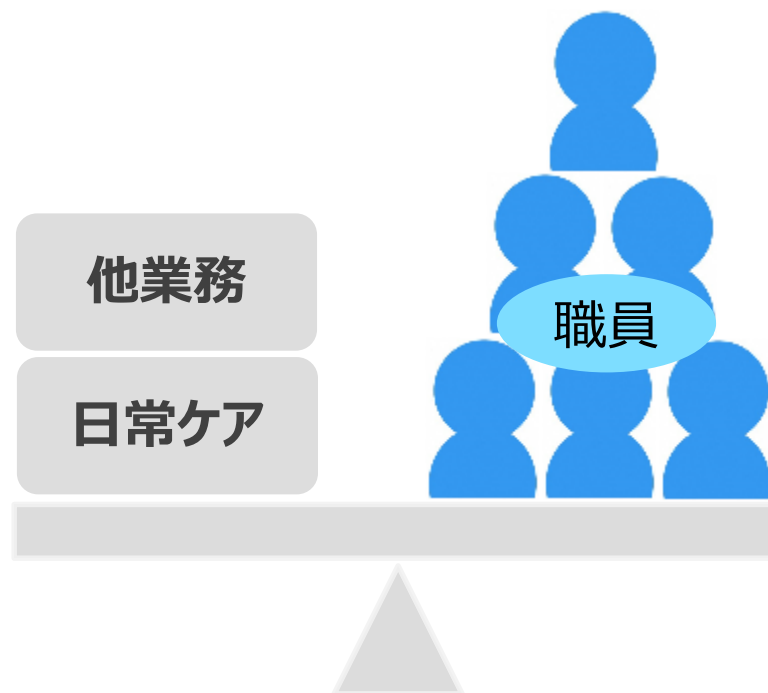
利用者及び職員に感染者が複数名（全体の3割）発生した場合について考えます。

- ① 職員が感染（不足）した場合、職員はどこから確保しますか？
- ② 職員が確保できなかった場合に備え、どのような準備が必要ですか？



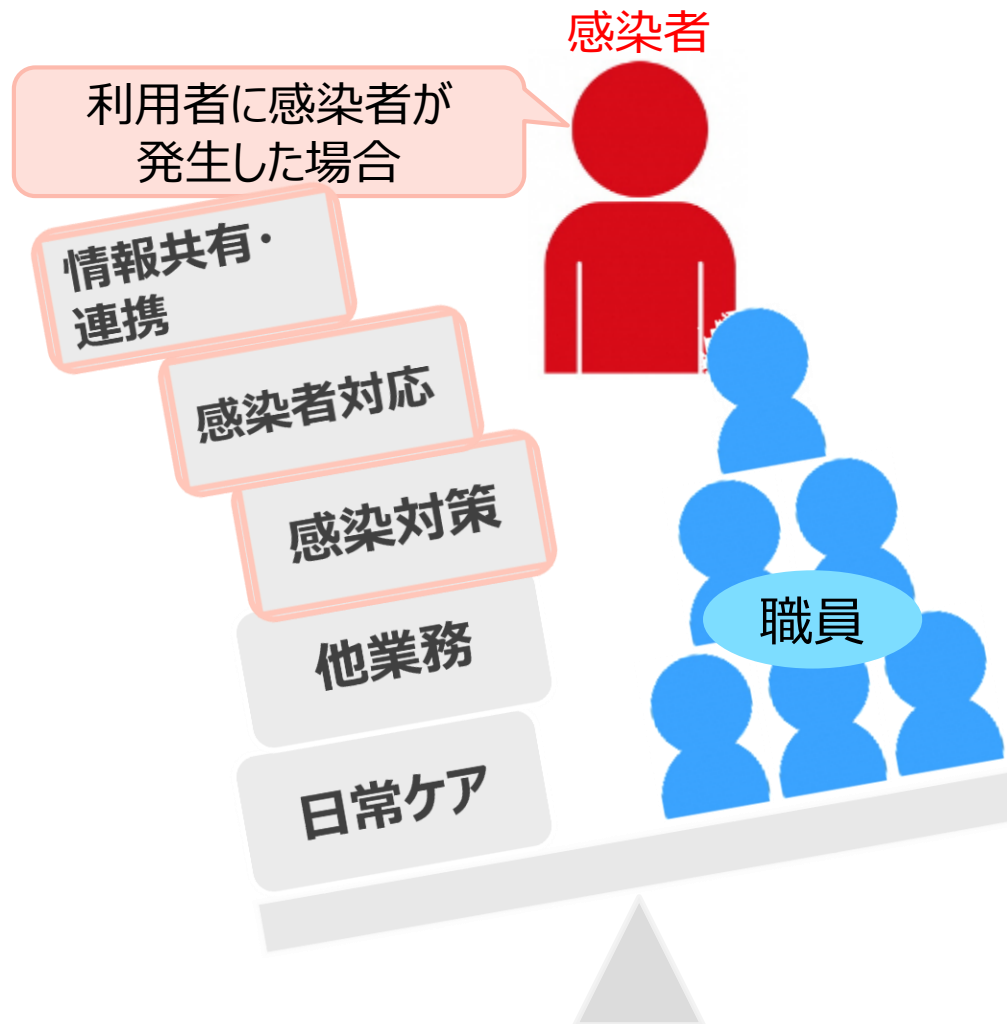
## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

利用者及び職員に感染者が出た場合に起こると考えられること



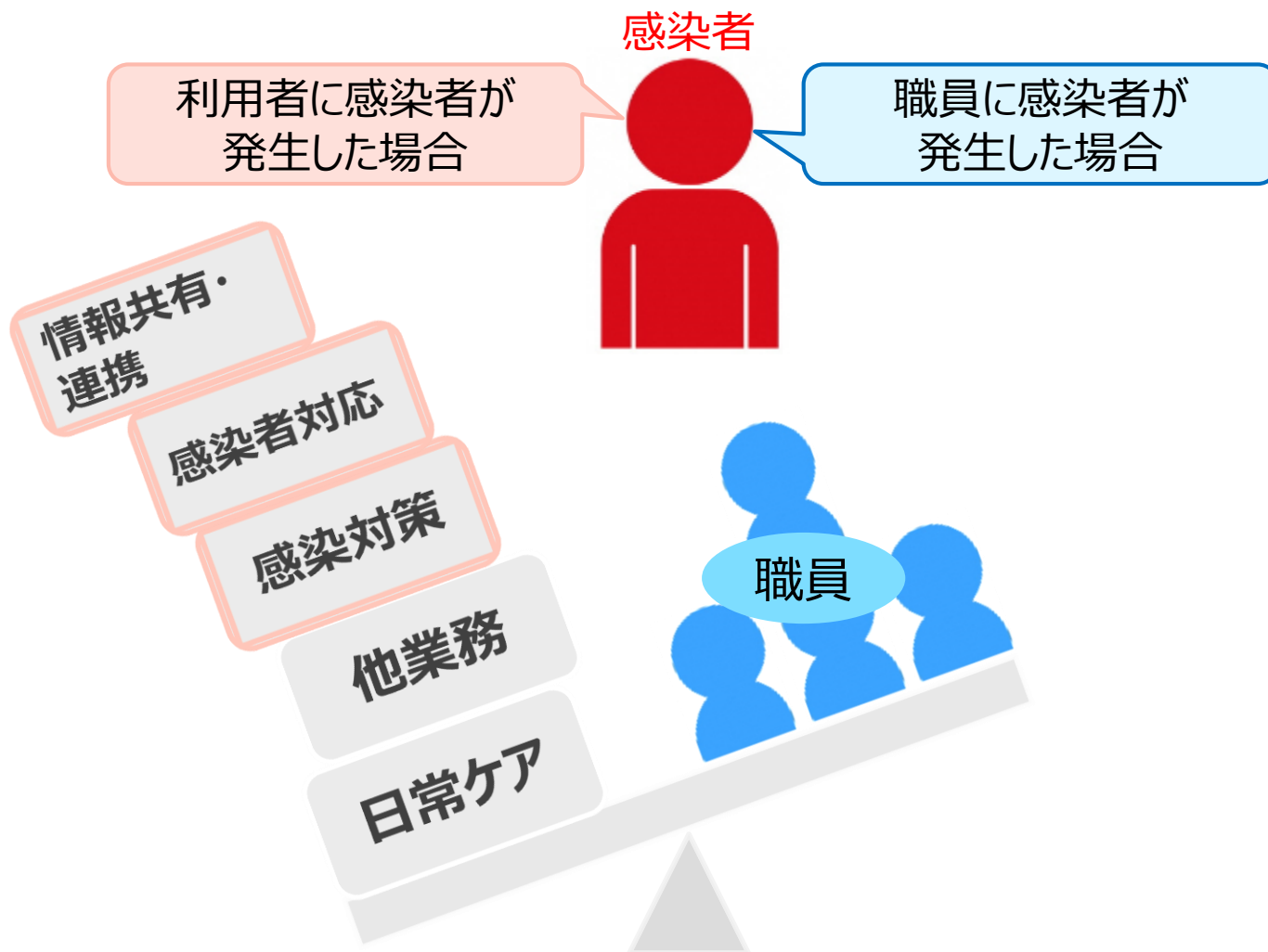
## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

利用者及び職員に感染者が出た場合に起こると考えられること



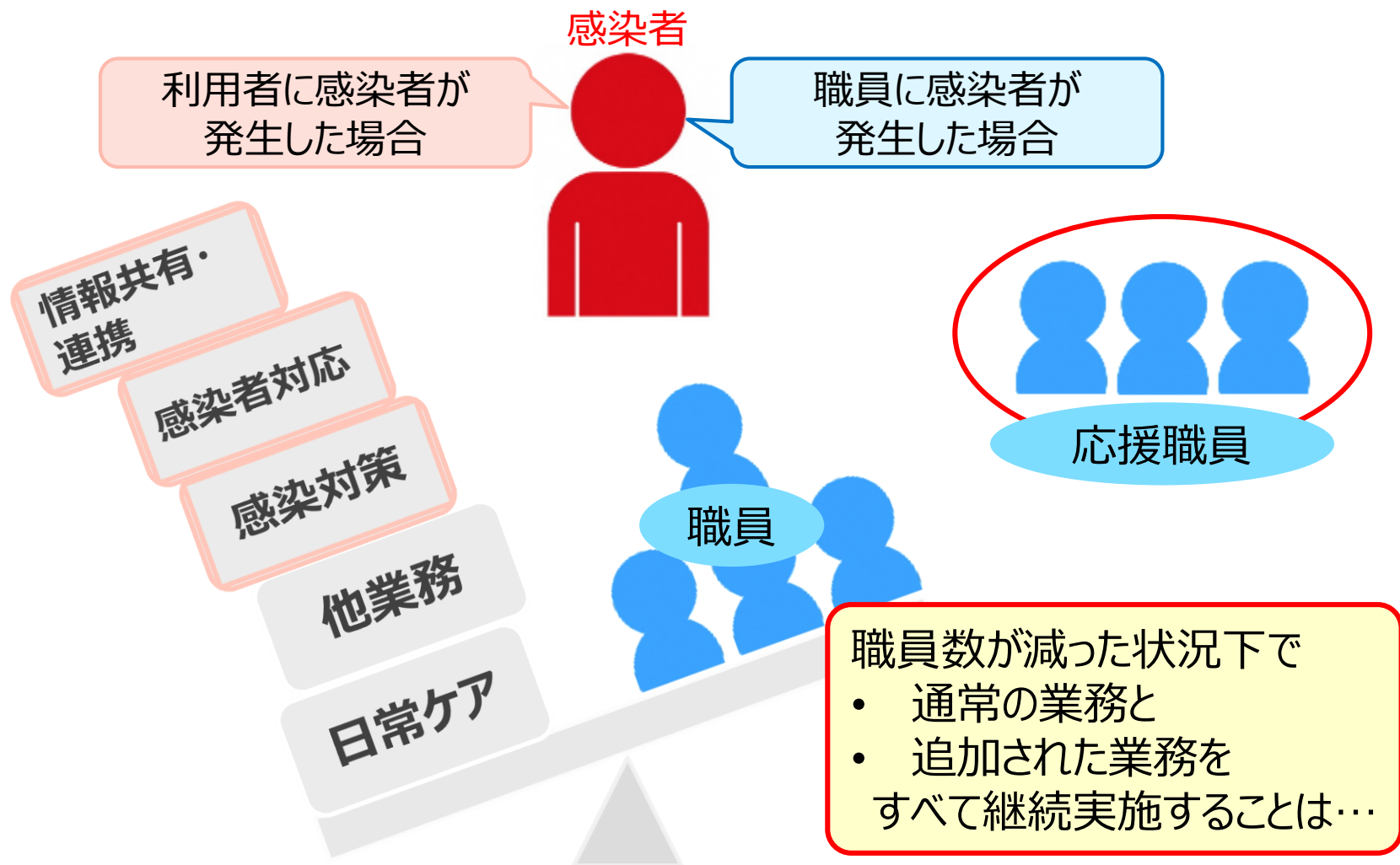
## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

利用者及び職員に感染者が出た場合に起こると考えられること



## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

利用者及び職員に感染者が出た場合に起こると考えられること



## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

- ① 職員が感染（不足）した場合、職員をどこから確保しますか？

### <感染者が発生した施設の事例>

#### 施設内での調整

- 感染を拡大させないため、通所施設からの職員応援を行わなかった。
- 通所施設を併設していたので、デイサービスを休止し、職員を入所に配属した。

#### 近隣他施設との連携

- 近隣の事業所と事前調整していたが、感染拡大リスクが高いと判断し、実際には依頼できなかった。
- 自然災害なら可能だが、感染症では迷惑が掛かるため、容易に助けを求められない。

### <検討課題>

- ✓ 協定を結んでいる施設等に職員を派遣するには、どのような条件が必要か 検討、相談しましょう。



## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

① 職員が感染（不足）した場合、職員をどこから確保しますか？

### どこから 応援に来てもらうのか？



- ✓ 同一法人内の別の施設
- ✓ 地域の連携する施設
- ✓ 自治体や関係団体
- ✓ 退職した職員
- ✓ 人材派遣会社

### 誰に（どの職種に）応援に来てもらうのか？

- ✓ 感染症に専門知識のある人材
- ✓ 看護職員
- ✓ 支援職員
- ✓ 事務職員

\* 連携のために必要な条件を明確にしましょう。

事前に、具体的に決めておくことが重要

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

① 職員が感染（不足）した場合、職員をどこから確保しますか？

他にも応援職員を確保  
するにあたり、明確にすること！



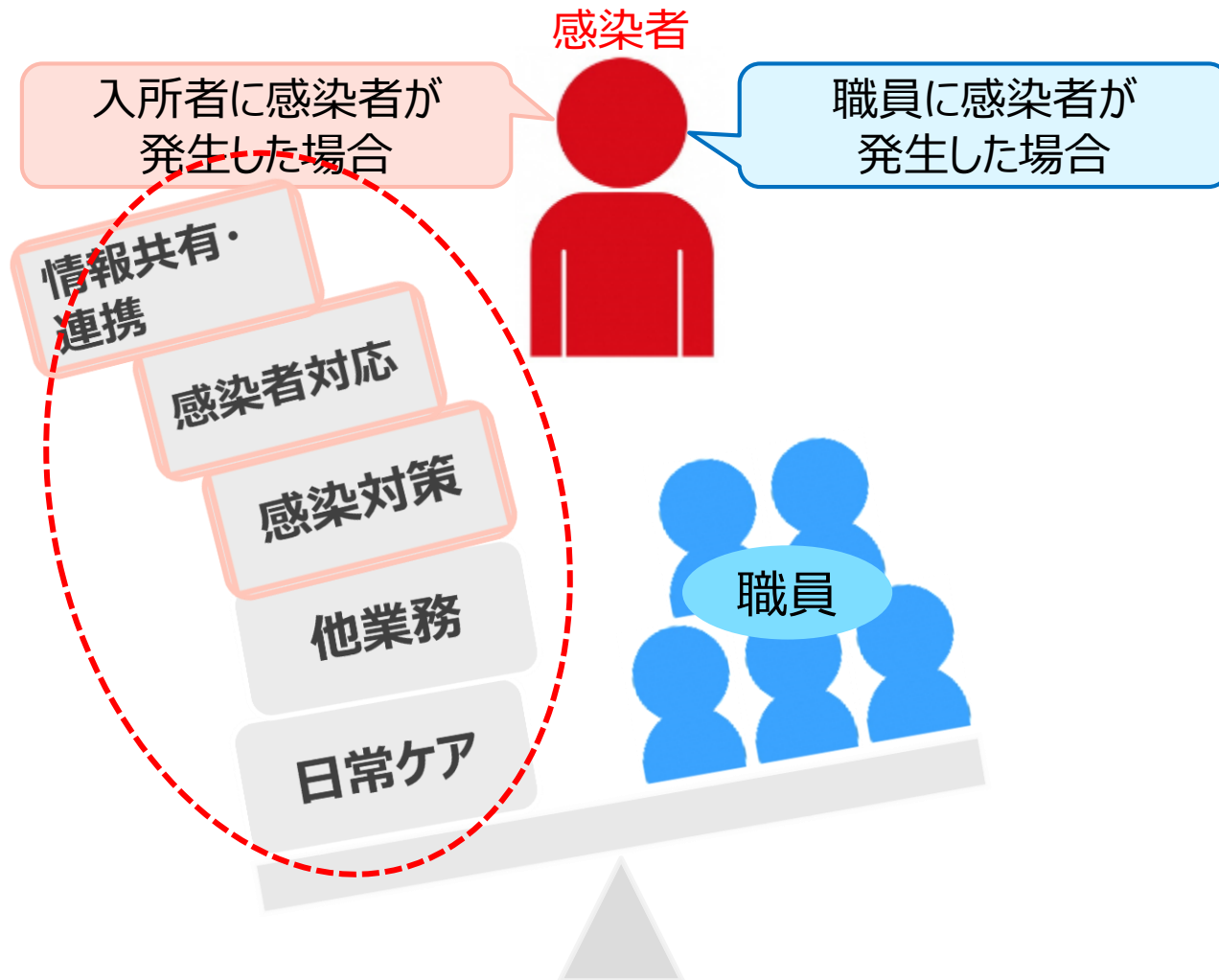
- ✓ 応援依頼先の誰に連絡すればいいですか？
- ✓ 感染者が出ている施設に応援に行くための条件やルールは、決まっていますか？
- ✓ 応援職員を受け入れる手順や就業規定、手続きなどは決まっていますか？
- ✓ 遠方から応援に来る職員の宿泊先は、確保していますか？

### ポイント！

- 感染疑い者や濃厚接触者を担当できる職員、感染拡大期に休む可能性がある職員等を把握し、リストアップしましょう。
- 職員の不足が見込まれる場合、早めに対応を考えましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ1 解説）

② 職員が確保できなかった場合に備え、どのような準備が必要ですか？

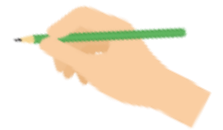


## 4. 感染症BCP演習

### ワークテーマ2

職員が確保できない場合の対策（業務の調整）について考えます。

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し（普段の業務も含む）、継続しなければならない業務、実施方法を変更・縮小しなければならない業務、休止する業務、追加業務に分類しましょう。

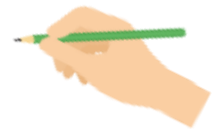


## 4. 感染症BCP演習

### ワークテーマ2

職員が確保できない場合の対策（業務の調整）について考えます。

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し（普段の業務も含む）、継続しなければならない業務、実施方法を変更・縮小しなければならない業務、休止する業務、追加業務に分類しましょう。
- ② 限られた資源の中で、利用者の命を守るためには、どの利用者に対し、どのような支援を提供すればいいのでしょうか？



## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2 解説）

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し、優先度を整理しましょう。

感染者



### 感染を拡大させないための対応

感染者の入院準備と対応

感染疑い利用者の確認と  
発見

感染疑い者に対し、個別  
対応の検討

消毒、清掃などの感染対策

ケア時の防護具の着用

ゾーニングの実施

### 感染者発生情報の共有と連携

施設、法人内の情報共有

医療機関への報告と連携

保健所、指定権者への  
報告と連携

家族への情報共有

問い合わせ対応

### 普段実施している業務

食事介助

排泄介助

清潔介助

医療的な処置やケア

見守りケア

移乗、移動介助

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2解説）

① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し、優先度を整理しましょう。

\* 業務を洗い出し、業務の優先順位を検討しましょう

直接的なケアだけでなく、実施している業務全般を検討する。

感染対策  
濃厚接触者対応  
ゾーニングの準備、等

分類	業務
継続業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・食事、排泄、見守りケア</li><li>・体位変換、オムツ交換</li><li>・医療ケア（喀痰吸引、経管栄養、）</li><li>・環境整備（清掃、消毒）</li><li>・物品確保（消毒薬、個人防護具一式、他）</li><li>・労務管理</li></ul>
追加業務	<ul style="list-style-type: none"><li>・濃厚接触者の特定</li><li>・利用者移動</li><li>・ゾーニング（施設内レイアウト変更、カラーテープによる区分け、一方通行やゾーンの表示）</li><li>・搬送車準備（シートで覆う、使用后消毒）</li><li>・レッドゾーンの環境整備（清掃、消毒）</li><li>・物品確保（使い捨て食器）</li><li>・廃棄物管理（処理、保管）</li><li>・濃厚接触者衣類の管理（消毒、洗濯、保管）</li><li>・個人防護の着脱</li><li>・業務調整に伴う介護計画の見直し</li></ul>

生命に直結する事から実施間隔を延長できるものまで様々。個々のケアで優先順位を考える。

### <検討課題>

✓業務は、利用者の状態により一定ではないため、**最も業務が多い状況を想定**し、分類しましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2 解説）

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し、優先度を整理しましょう。

### \* 職員の数と業務の実施内容を検討しましょう

職員数	出勤率 30%	出勤率 50%	出勤率 70%	出勤率 90%
	●名	●名	●名	●名
食事の提供	2食/日 朝昼兼用 10時	3食/日 昼弁当	3食/日 昼食調理	通常通り
食事介助	時間を限定して 介助	時間を限定して 介助	通常通り	通常通り
排泄介助	おむつ着用 交換 4時間毎	トイレ誘導 希望時	トイレ誘導 4回/日中	通常通り
入浴介助	週 1回清拭	週 2回清拭	週 2回清拭 1回シャワー浴	湯舟に入らず シャワー浴
医療的ケア 喀痰吸引	通常通り	通常通り	通常通り	通常通り
医療的ケア 経管栄養	1回量を増量し 2回/日	栄養 2回 白湯 1回/日	栄養 2回 白湯 2回/日	通常通り
医療的ケア 傷の処置	ガーゼ汚染なし 経過観察	ガーゼ汚染なし 1回/3日	ガーゼ汚染なし 1回/2日	1回/1日
洗濯	使い捨て対応	1回/週	2回/週	通常通り

日勤と夜勤で職員数も変わるため、出勤率や人数だけの評価は困難。職員の経験や能力を踏まえる必要もある。

### ポイント！

- 業務の優先度を調整する基準を明確にしてください。ここでは「職員の出勤率」を例に挙げましたが、「感染者数」「濃厚接触者数」なども指標となりえるでしょう。

### <検討課題>

- ✓ 個々の対応は、通常のサービス内容を踏まえ**別途検討**しましょう。



## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2解説）

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し、優先度を整理しましょう。

**\* 変更、追加した業務手順を検討し明確にしましょう**

業務分類		継続（変更） <b>追加</b>	
業務名		サービス変更に関する連絡	
業務フロー		担当者	対応手順
1	連絡先の管理	事務員	・家族の連絡先の情報を一元管理し、適宜更新する。
2	情報提供用資料の作成	施設長	・感染症発生前、疑い、感染症発生、濃厚接触者発生等の状況に合わせ、サービス変更に関する資料を作成する。 ・資料の配布が必要になった時点で、事務職員に印刷を依頼する。
3	入所者・家族への情報提供	施設長	・感染拡大に伴い、業務を変更する可能性が高まった時点で、入所者・家族にサービス提供ができなくなる可能性があることを文書で連絡する。 ・連絡のタイミングは、法人と検討とする。

### <検討課題>

- ✓ 変更、追加業務手順は、優先度を踏まえ検討、準備しましょう。
- ✓ 特に追加業務は、通常行っていない業務のため、手順を検討しましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2解説）

- ① 感染者が発生した場合の業務を洗い出し、優先度を整理しましょう。

### <感染者が発生した施設の事例（情報提供・共有）>

#### 情報提供方法について

- 休日に陽性者が判明したため、休みだった数名の職員に出勤してもらい、手分けして全利用者に電話連絡した。
- 利用者家族への電話連絡に時間がかかり難儀した。想定される緊急対応について事前に説明しておけばよかった。

#### 問い合わせ対応

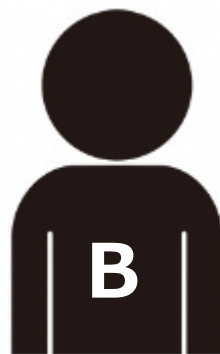
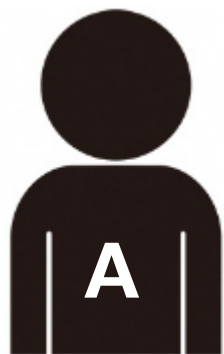
- 利用者家族等、外部からの問い合わせに対し、情報共有シートや、想定質問集等を作成し、職員間で共有した。

### <検討課題>

- ✓ 感染者発生時に、いつでも（曜日や時間帯に関わらず）速やかに情報共有できる方法を検討しましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2 解説）

② 限られた資源下における支援の優先順位や提供方法を検討しましょう。



支援内容	A	B	C
食事	経管栄養（胃瘻）	自力摂取	一部介助
排泄	床上全介助	トイレにて見守り要	トイレ一部介助
処置	臀部褥瘡ポケットあり 喀痰吸引実施	膝に擦過傷 （転倒時）	特になし
その他	四肢拘縮あり	行動障害あり	片麻痺あり

### <検討課題>

✓各種ケア（食事、排泄など）の提供は、利用者の状況によっても変化します。  
必要なケアが漏れないよう提供の優先順位の基準や情報の共有方法、利用者  
の見直し方法やタイミング等についても検討しておきましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2解説）

② 限られた資源下における支援の優先順位や提供方法を検討しましょう。

\* 応援職員への依頼する業務や対象者についても検討しましょう

依頼可能な業務		説明すべきこと
1	食事介助	・入所者ごとの介助方法 ・食事ケア時の感染防止対策 ・配膳・下膳の場所
2	排泄介助	・入所者ごとの介助方法 ・排泄ケア時の感染防止対策 ・排泄物の処理方法
3	消毒・清掃作業	・物品の場所、管理方法 ・消毒・清掃方法、タイミング

応援職員へ依頼できる業務を洗い出し、必要事項を書き出す。応援職員へ全て説明しないで済むような準備が必要。

### <検討課題>

- ✓ 応援を受ける側 **（受援）の心構えを整えておく**ことも重要です。気になることを明確にしておきましょう。

## 4. 感染症BCP演習（ワークテーマ2解説）

② 限られた資源下における支援の優先順位や提供方法を検討しましょう。

**\* 受援（応援を受ける側）の対応についても検討しましょう**

### □ 受け入れに対する職員の心理的準備

- ✓ 施設職員は外部から応援を受けるのは「なんとなく居心地が悪い」「申し訳ない」と感じがち
- ✓ 職員の職業意識や精神論に依存せず、BCPを通じて組織として応援職員を受け入れる仕組みを通じて、応援を受ける文化を作っていくことも必要
- ✓ 連携施設間での日頃からの人材交流
- ✓ ロールプレイ型訓練（応援職員への指示出しなど）

### □ 応援職員とのコミュニケーション

- ✓ 応援職員への声掛けを積極的に行う
  - ・ 「分からないことがあればいつでも聞いてほしい」
  - ・ ねぎらい

## 5. 自然災害BCPとは

## 5. 自然災害BCPとは

もし、地震が発生したら…

影響の例：ライフラインの停止

電気 ×

- 夜だと暗くて何も見えない
- 機器類が止まってケアができない
- 空調が止まって寒い（暑い）
- エレベーターが使えないなど

ガス ×

- 食事が作れない
- 入浴できない など

上下水道 ×

- トイレが使えない
- 入浴できない
- 食事が作れない
- 洗濯できない など

通信 ×

- 医療機関へ連絡できない
- 行政へ連絡できない
- 家族へ連絡できないなど

事前準備がされていなければ

- …備蓄が不足し食料がすぐに底をつく
- …代替施設が決まらず屋外で過ごす
- …不衛生な状態が続く など



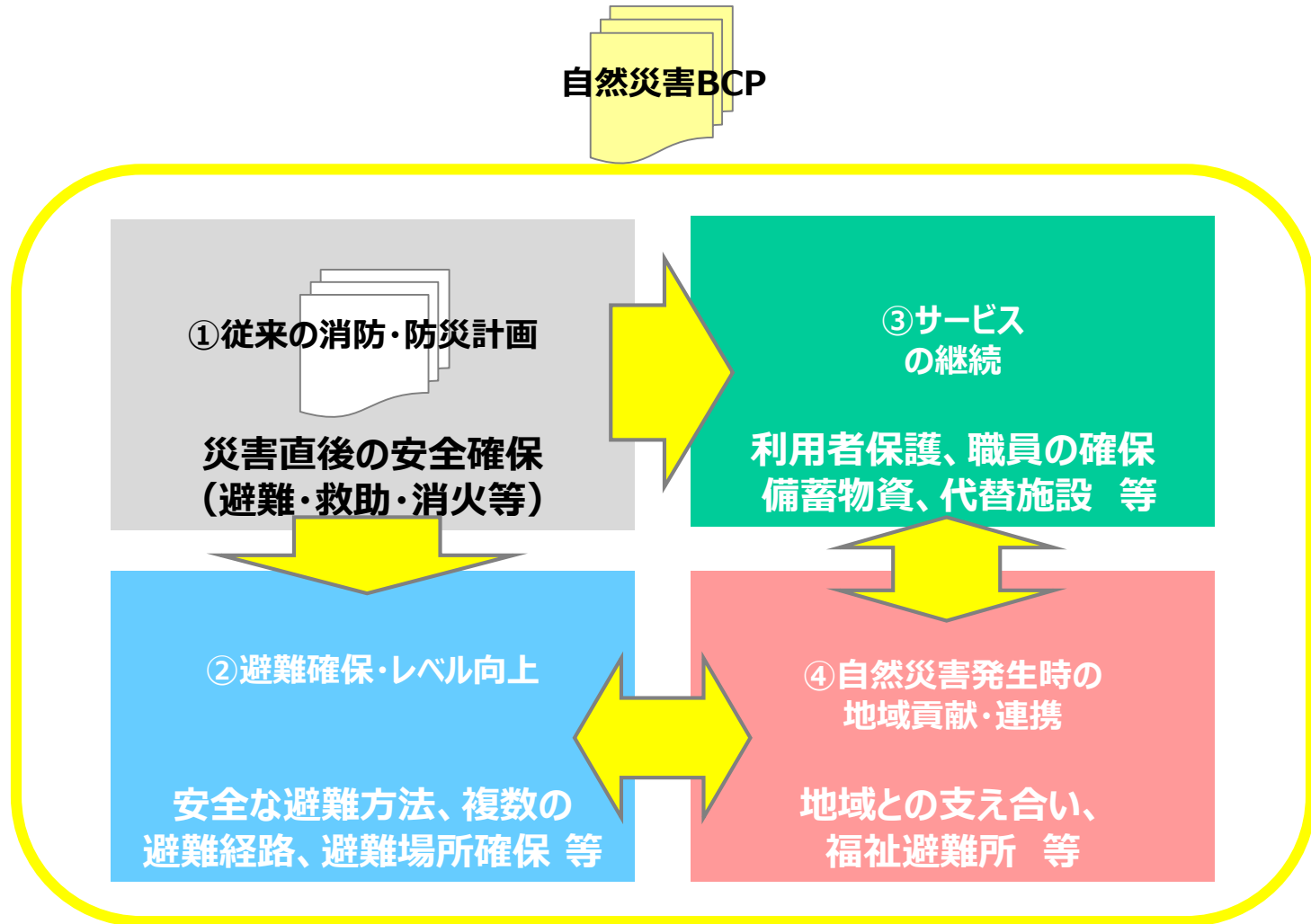
発災時の対応が  
検討されていなければ

- …命や生活を守ることができない
- …安全な避難ができない
- …職員を速やかに招集できない
- …関係機関との連携ができない など

**障害者施設等は  
サービスを停止できない！！**

# 5. 自然災害BCPとは

## 防災計画と自然災害BCPの関係



出典：（一社）福祉防災コミュニティ協会作成を一部修正



## 5. 自然災害BCPとは

### 防災計画と自然災害BCPの関係

	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体、生命の安全確保</li><li>・物的被害の軽減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧</li></ul>
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none"><li>・拠点がある地域で発生することが想定される災害</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象</li></ul>
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下を最小限にすること<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 「死傷者数」</li><li>➢ 「損害額」</li></ul></li><li>・従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること</li><li>・被害を受けた拠点を早期復旧すること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・左記に加え、以下を含む<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること</li><li>➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること</li><li>➢ 利益を確保し企業として生き残ること</li></ul></li></ul>
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社の拠点ごと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・全社的（拠点横断的）</li><li>・依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）</li></ul>

## 5. 自然災害BCPとは

### サービスを継続する・中断させない

①

サービスを提供するために  
必要な資源を守ること

建物・設備・備品

ライフライン

職員

②

必要な資源が欠けたり、不足した  
場合、その足りない資源を補って  
サービスを復旧させること

建物・設備・備品の修繕・確保

ライフラインの補完・代替

職員の参集・応援職員の確保

③

資源の不足を想定して、優先する業務を選定し準備する

# 5. 自然災害BCPとは

## 自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



出典：厚生労働省「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」

## 6. 自然災害BCP演習

## 6. 自然災害BCP演習

◆ このパートでは、地震発生時の被害状況について検討します

- ✓ 自施設で検討しなければならない“リスク”を調べる
- ✓ 地域の被害想定を把握する
- ✓ 地域の被害想定をもとに、自施設への影響を把握する
- 自施設への影響に対してどのように備え、業務を継続するのか検討する

※実際にBCPを策定する際はリスクの把握から行いますが、今回はご参加の皆様の状況が異なりますので、一定の被害想定をもとに、赤字部分について演習を行います。

# 6. 自然災害BCP演習

## 自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート



出典：厚生労働省「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」

## 6. 自然災害BCP演習

### 第I章 総論3. リスクの把握（1）ハザードマップなどの確認

- まずは「重ねるハザードマップ」を調べましょう  
⇒洪水・津波・高潮による浸水深、土砂災害の危険性を視覚的にとらえられます。自施設が水害等に対してどれほど備えなければならないのかが分かります。
- 次に、「わがまちハザードマップ」を調べましょう  
⇒各区市町村が作成したハザードマップや地域防災計画により、地域の詳細な被害想定を確認できます。

#### ポイント！

- 最新の地域防災計画の被害想定を確認するようにしましょう。
- 令和4年5月25日に首都直下地震等の被害想定が10年ぶりに見直されています
- 複合災害対策として感染症流行下における対策も検討しておきましょう。

## 6. 自然災害BCP演習

### 第I章 総論3. リスクの把握（1）ハザードマップなどの確認

#### <参考情報>

#### ①「東京都都市整備局 地震に関する地域危険度測定調査」

[https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa\\_6/home.htm](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/chousa_6/home.htm)

- 建物倒壊危険度（建物倒壊の危険性）
  - 火災危険度（火災の発生による延焼の危険性）
  - 総合危険度（上記2指標に災害時活動困難度を加味して総合化したもの）
- 上記3点をもとに5つのランクで示される“地域危険度”を、町丁目ごとに確認できます。

#### ②「東京都防災ホームページ 地震被害想定」

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000902/index.html>



# 6. 自然災害BCP演習

## 第I章 総論 3. リスクの把握（2）被災想定

	被災者を取り巻く様相	電力	上水道	下水道
発災直後 〜1日後	<p><b>発災後当面の間は、ライフライン寸断等、被災生活に大きな支障</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼液状化地域では、住宅の傾斜など、<b>継続的な住居や日常生活が困難化</b></li> <li>▼長周期地震動により<b>固定されていない本棚等が転倒</b>したり、<b>家具、ピアノ、コピー機等が大きく移動し、人に衝突</b></li> <li>▼本や食器、窓ガラス等が飛散し、ストーブなど火気器具が転倒</li> <li>▼停電で<b>住宅のエレベーターが停止</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼広範囲で<b>停電が発生</b></li> <li>▼<b>広い地域で計画停電</b>が実施される可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼<b>断水が発生</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼<b>下水利用が制限</b></li> <li>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、<b>水道供給が再開してもトイレ利用が不可</b></li> </ul>
3日後	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ライフライン停止等により、<b>空調やトイレ等が利用できない状態</b>が継続</li> <li>▼品切れにより<b>飲食料等生活必需品の確保が困難化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼徐々に<b>停電が減少</b></li> <li>▼発電所の停止等、電力供給量が不足し、電力需要が抑制されない場合などは、<b>計画停電が継続</b>する可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼断水の復旧は<b>限定的</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼一部地域で<b>下水利用が困難な状況が継続</b></li> <li>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、<b>水道供給が再開してもトイレ利用が不可</b></li> </ul>
1週間後	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ライフラインの状況により<b>空調やトイレ等の一部が利用できない状況</b>が継続</li> <li>▼電力が復旧しても、保守業者による点検が終了するまでは、エレベーターが使用できないため、<b>復旧が長期化する可能性</b></li> <li>▼過剰な購買や買い占めにより<b>生活必需品の品薄状態</b>が継続</li> <li>▼自宅の再建や修繕を望んでも、<b>業者や職人等の確保が困難</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼建物倒壊や消失など復旧困難エリアを除き、安全点検の終了や管路の復旧により、<b>多くの地域で供給が再開</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼断水は<b>概ね解消</b>するが、浄水施設等が被災した場合、<b>断水が長期化</b>する可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼多くの地域で<b>利用制限解消</b></li> <li>▼排水管等の修理が終了するまで、集合住宅では、<b>水道供給が再開してもトイレ利用が不可</b></li> </ul>
1か月後				

# 6. 自然災害BCP演習

## 第I章 総論 3. リスクの把握（2）被災想定

ガス	通信	鉄道	道路
<p>▼一般家庭で使用される低圧ガスは、<b>安全装置が作動し、広域的に供給が停止</b></p> <p>▼各家庭でも、<b>震度5弱程度以上で自動遮断</b></p>	<p>▼音声通信やパケット通信の<b>利用に支障</b></p> <p>▼輻輳により<b>音声通話はつながりにくくなる</b></p> <p>▼メール、SNS等の<b>大幅な遅配等が発生</b></p> <p>▼携帯基地局電源の枯渇により<b>不通エリア拡大の可能性</b></p> <p>▼音声通信もパケット通信も<b>利用困難が継続</b></p>	<p>▼点検や被災等で、都内のJR在来線、私鉄、地下鉄が<b>運行停止</b></p> <p>▼新幹線も<b>運行停止</b>し、都外からの<b>来街者の多くが帰宅困難</b></p> <p>▼道路寸断や、交通規制、渋滞等により、<b>バス等の代替交通手段による移動も困難</b></p>	<p>▼高速道路及び主要一般道において、交通規制が実施され、<b>一般車両の運行が規制</b></p> <p>▼<b>環状七号線の内側方向への流入禁止等</b>の交通規制が実施</p> <p>▼ガソリンスタンドは<b>当面給油不能か長蛇の列</b></p>
<p>▼低圧ガス管路の安全点検や復旧作業が終了せず、<b>一部の利用者への供給停止が継続</b></p>			<p>▼高速道路や主要道路で<b>交通規制が継続</b></p> <p>▼通行可能な道路において、鉄道等の運休継続で車両利用が増え、<b>慢性的な渋滞が継続</b></p>
<p>▼安全点検の終了や管路の復旧により、建物倒壊や焼失など復旧困難エリアを除き<b>多くの地域で供給が再開</b></p>	<p>▼<b>順次、通信が回復</b></p> <p>▼通信設備の被害状況によっては、<b>電話やインターネット等通信が長期に渡り不通</b>となる可能性</p>	<p>▼復旧完了区間から<b>順次運行が再開</b>するが<b>多くの区間で運行停止が継続</b></p> <p>▼橋脚などの<b>大規模被害や線路閉塞、車両脱線等</b>が発生した場合<b>復旧まで1か月以上の期間が必要</b>となる可能性</p>	<p>▼高速道路や直轄国道等の主要路線は<b>段階的に交通規制解除</b></p> <p>▼その他道路では<b>段階的に閉塞や交通規制が継続</b>する可能性</p> <p>▼土砂災害等により道路が寸断された場合<b>復旧までは数か月以上を要</b>する可能性</p> <p>▼羽田空港等では、<b>徐々に一般利用客の輸送を再開</b></p>

## 6. 自然災害BCP演習

調べた被害想定をタイムライン形式にしてまとめましょう。  
このタイムラインを基に、自施設のライフライン対策を構築します。

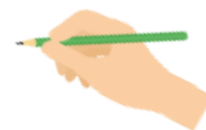
	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
電力	停電			復旧（ただし計画停電の可能性あり）→										
上水	断水							給水車→						
ガス	供給停止										復旧→			
通信	停止			復旧→										
鉄道	停止							一部再開						
道路	通行止め→	部分復旧（ただし渋滞・混雑が予想される）→												

## 6. 自然災害BCP演習

### ワークテーマ1

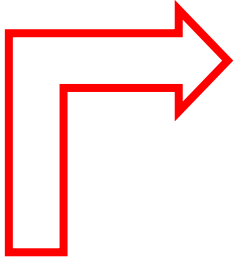
地震発生時の被害について、電気を例に検討しましょう。

- ① 電気を使用している機器や設備を洗い出しましょう。



本講座では演習をスムーズに行うため、共通の被害想定を設定しています。実際にBCPを作成する際は、自施設の地域周辺のハザードマップや被害想定をもとに検討してください。

## 6. 自然災害BCP演習



ワーク1 ①使用している電気機器・設備を記載する

		機器・設備	優先順位	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後
電力	停電								復旧(計画停電)	
	例) 照明									

## 6. 自然災害BCP演習

### ワークテーマ1

地震発生時の被害について、電気を例に検討しましょう。

- ① 電気を使用している機器や設備を洗い出しましょう。
- ② 洗い出した機器・設備について優先度を検討しましょう。  
(最重要：◎ 重要：○ 優先度低い：△)



本講座では演習をスムーズに行うため、共通の被害想定を設定しています。実際にBCPを作成する際は、自施設の地域周辺のハザードマップや被害想定をもとに検討してください。

## 6. 自然災害BCP演習

ワーク1 ①使用している電気機器・設備を記載する

ワーク1 ②重要だと思う機器や設備の順にマーク(◎、○、△)をつける

電力	機器・設備	優先順位	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後
	停電								復旧(計画停電)
例) 照明	◎								

## 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ1解説）

電力を使用して稼働している物の一例です。

これらのものから、障害者施設で**優先すべき業務に直結する**ものを考え、優先順位をつけましょう。



電力	機器・設備	優先順位	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後
	停電								復旧(計画停電)
	例) 照明	◎							



## 6. 自然災害BCP演習

### ワークテーマ2

電力が使用できない場合の対策を検討しましょう。

- ① 現在行っている対策を共有し、整理しましょう。



本講座では演習をスムーズに行うため、共通の被害想定を設定しています。実際にBCPを作成する際は、自施設の地域周辺のハザードマップや被害想定をもとに検討してください。

## 6. 自然災害BCP演習

ワーク1 ①使用している電気機器・設備を記載する

ワーク1 ②重要だと思う機器や設備の順にマーク(◎、○、△)をつける

	機器・設備	優先順位	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後	
	電力	停電								復旧(計画停電)
例) 照明		◎	各部屋にランタンを設置 (50個)							

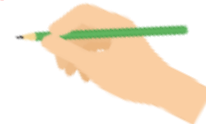
ワーク2 ①現在行っている対策を記入

## 6. 自然災害BCP演習

### ワークテーマ2

電力が使用できない場合の対策を検討しましょう。

- ① 現在行っている対策を共有し、整理しましょう。
- ② 電気が止まった時の対策として、どんな備えが必要かを考えましょう。



本講座では演習をスムーズに行うため、共通の被害想定を設定しています。実際にBCPを作成する際は、自施設の地域周辺のハザードマップや被害想定をもとに検討してください。

## 6. 自然災害BCP演習

ワーク1 ①使用している電気機器・設備を記載する

ワーク1 ②重要だと思う機器や設備の順にマーク（◎、○、△）をつける

		機器・設備	優先順位	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後	
電力	停電								復旧(計画停電)		
	例) 照明	◎	各部屋にランタンを設置 (50個)								

ワーク2 ①現在行っている対策を記入  
②必要な備えを記入

# 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ2解説）

## 自然災害（地震・水害等）BCPフローチャート

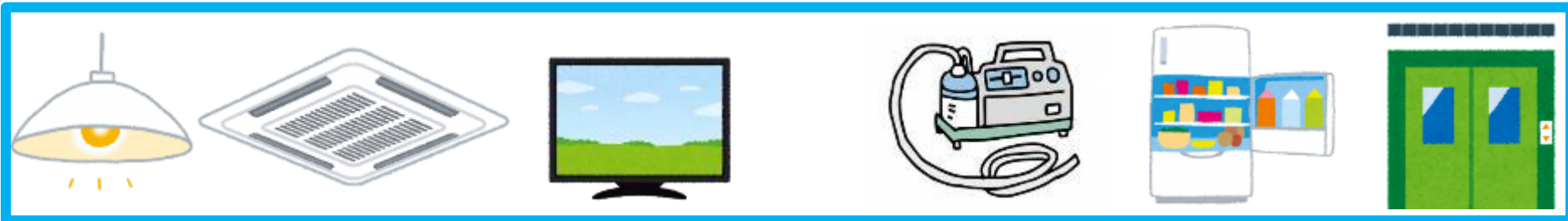


出典：厚生労働省「障害福祉サービス事業所等における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」

## 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ2解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 電気が止まった場合の代替策を検討する



- 電気なしで使える代替品の検討



- 自家発電機の要否の検討
- 自家発電機で稼働するものの優先度の検討



## 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ2解説）

### 第II章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 自家発電機がある場合
  - 定期的な検査を実施しましょう
  - 緊急時に問題なく使用できるよう性能の把握及び訓練を実施しましょう
  - 自家発電機のカバー時間・範囲を確認し、使用する設備を決めた上で優先順位をつけましょう
  - 燃料の備蓄と緊急時の燃料確保策を講じましょう

## 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ2解説）

### 第II章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 自家発電等の機器や電池などの代替策の準備をしても、設置場所や稼働方法の確認やメンテナンスを実施していなければ使用できません。
  - ⇒ 検討した内容を以下の項目にも反映しましょう
    - 備蓄：保管場所と数を明記しましょう
    - 訓練：稼働方法を定期的に複数人で確認しましょう
- 自家発電機を準備しているのであれば、カバー時間や範囲を確認し、使用する設備等を決めておく必要があります。
  - ⇒ 災害時でも優先すべき業務で使用する設備がないか確認しておきましょう



## 6. 自然災害BCP演習（ワークテーマ2解説）

- 電力以外のライフラインについても、同様に検討しましょう
- 備品・代替手段についても同じ表にまとめましょう
- 被災しても直後から使用できるものをまとめておきましょう

		機器・設備	優先順位	被災直後	6時間後	12時間後	24時間後	2日後	3日後	1週間後	1か月後
電力		停電								復旧（計画停電）	
		エレベーター									
		医療機器									
		冷蔵庫									
		照明									
		エアコン									
上水		断水								給水車	
	飲料水	飲用									
		食事									
		口腔ケア									
	生活用水	入浴									
		トイレ									
清掃											
ガス		供給停止								復旧	
		暖房									
		調理									
		給湯									
備品											

## 6. 自然災害BCP演習（解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 普段電気・ガスで動かしている物を洗い出す
- 普段の水の用途を洗い出す
- 水は飲用水と生活用水に分けて考える

#### <電気>

稼働させるべき設備及び必要な備品
医療機器： 喀痰吸引、人工呼吸器など
情報機器： パソコン、テレビ、インターネットなど
冷蔵庫・冷凍庫 夏場は暑さ対策として保冷剤等を用意
照明器具、冷暖房器具

#### <ガス>

稼働させるべき設備及び必要な備品
暖房機器
調理器具
給湯設備
その他、代替の熱源を考える

#### <飲用水>

稼働させるべき設備及び必要な備品
飲料水
食事用水
口腔ケア用水

#### <生活用水>

稼働させるべき設備及び必要な備品
入浴用水
トイレ用水
清掃、消毒用水

## 6. 自然災害BCP演習（解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 水道が止まった場合の代替策と必要な量を検討する
  - 「飲用水」「生活用水」に分けて検討しましょう
    - 「確保策」「削減策」をそれぞれ記載しましょう
    - 飲料水用のペットボトルなどの保管方法を検討しましょう
    - 利用者だけでなく、職員の飲料水についても確保しましょう
- ※ 一般成人が1日に必要とする飲料水は  
1.5～3.0 リットル程度です。
- 3リットル/人/日 × ●人分（職員を含める） × 7日（最低3日）  
= ●リットル

## 6. 自然災害BCP演習（解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 水道が止まった場合の代替策と必要な量を検討する
- 「飲用水」「生活用水」に分けて検討しましょう
  - 飲用水の備蓄では、消費期限までに買い換えるなど定期的なメンテナンスを行きましょう
  - メンテナンス時期や点検者を明確にしましょう
  - ローリングストックで対応することも検討しましょう
  - 調理用の水や近隣避難者の受入れ等を考慮し、可能であれば多めに備蓄しておきましょう
  - エレベーター停止、マンパワー不足に備え、飲料水用のペットボトルなどは、あらかじめ各階（利用者の状況によっては、居室）に保管することを検討しましょう

## 6. 自然災害BCP演習（解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- 水道が止まった場合の代替策と必要な量を検討する
- 「飲用水」「生活用水」に分けて検討しましょう
  - 「トイレ」について、簡易トイレやオムツの使用等の代替策を検討しましょう
  - 「食事」について、紙皿・紙コップの使用等の代替策を検討しましょう
  - 「入浴」について、生活水の節約や清潔を保つためにも清拭等の代替策を検討しましょう
  - 給水車から給水を受けられるよう、ポリタンクなど十分な大きさの器を準備しておきましょう
  - 貯水槽を活用する場合は、容量を記載しましょう
  - 井戸水の活用も検討しましょう（飲用不可）

## 6. 自然災害BCP演習（解説）

### 第Ⅱ章 自施設での対応 1. 平常時の対応

- ガスが止まった場合の代替策を検討する
  - 都市ガスかLPガスかを確認しましょう
  - カセットコンロは火力が弱く、大量の調理は難しいため、プロパンガス、五徳コンロなどでの代替も検討しましょう
  - 調理できない場合を考え、常食以外の備蓄食も検討しましょう
  - カセットコンロやカセットガスストーブを使用する場合を考慮して、備蓄を整備しましょう

### 1. **まずは書いてみましょう！**

大事なことは、ひな形等を有効に活用しながら作成をはじめること

### 2. **研修**で、職員への周知・ベクトル合わせを実践すること！

大事なことは、BCPを作りっ放しにせずに周知・共通認識を図ること

### 3. **訓練（シミュレーション）**を定期的 to 実施すること！

大事なことは、課題の洗い出しと見直しを繰り返し継続していくこと

**利用者や職員を守るのは皆さんです！！**

**できることから始めましょう！！**

# 事業のご紹介

## アドバイザーによる個別相談（基礎編）

- ・BCP未策定施設等を対象に、Web会議システムにより、専門アドバイザーが1対1でご相談をお受けします。
- ・作成段階でのつまずき、どこから手を付けてよいかわからないといったお悩みにお答えします。
- ・1施設等1回までご利用いただけます（入門編か実践編どちらか片方のみ）。
- ・策定講座の疑問点もぜひここで解消ください。

7月	20日（木）	26日（水）	—	—	—
8月	3日（木）	17日（木）	24日（木）	—	—
9月	5日（火）	8日（金）	11日（月）	19日（火）	26日（火）

## アドバイザーによる個別相談（実践編）

- ・BCP策定済施設等を対象に、Web会議システムにより、専門アドバイザーが1対1でご相談をお受けします。
- ・BCP策定後の運用・更新方法や、研修・訓練の実施方法などのお悩みにお答えします。
- ・1施設等1回までご利用いただけます（入門編か実践編どちらか片方のみ）。

7月	21日（金）	28日（金）	—
8月	9日（水）	23日（水）	29日（火）
9月	13日（水）	21日（木）	27日（水）

基礎編・実践編ともに  
各日程の下記時間帯で開催。  
①9:00-10:30 ②10:30-12:00  
③13:00-14:30 ④14:30-16:00

いずれも申込はこちらから！→





# BCP策定講座 ご参加の皆さまへ

本日はお忙しい中、  
令和5年度東京都障害者施設等のBCP策定支援事業  
BCP策定講座にご参加いただきありがとうございました。  
最後に、本事業に関するアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。  
以下の二次元コードからアクセスいただき、ご回答ください。

※二次元コードからのご回答ができない場合は、講師・スタッフまでお声掛けください



<令和5年度東京都障害者施設等BCP策定支援事業 事務局>  
MS&ADインターリスク総研株式会社  
リスクマネジメント第四部  
医療福祉マーケットグループ



東京都福祉局